



Title	吐魯番出土文物研究会会報 第9号（墳墓一覽号）
Author(s)	
Citation	吐魯番出土文物研究会会報. 1989, 9, p. 1-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/78819
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

吐魯番出土文物研究会会報

1989年3月15日
吐魯番出土文物研究会

第9号

(墳墓一覽号)

阿斯塔那古墳群墳墓一覽表

荒川正晴 編

【はじめに】

本号は、第8号の阿斯塔那古墳群墳墓一覽表の続きを掲載する。ここでは151～240号墓までを載せ、以下は次号に掲載する予定である。凡例及び注の略語は、第8号の1頁と6頁を参照して頂きたい。

①番号	②年	③埋葬者	④没年	⑤墓	⑥随	⑦文	⑧頁数
TAM151	72	汜法濟(墓), 合葬・A	男・重光元年(620)(墓・随)(男先)<延和8年-貞觀18年(609-44)>	1方	1件	4	148-210
TAM152	72	合葬・A	<延昌6年-貞觀19年(566-645)>(男先)	無	無	4	246-67
TAM153	72	合葬・A	<延昌36-7年(596-7)>(女先)	無	無	2	325-45
TAM154	72		<重光2年(621)>	無	無	3	128-49
TAM155	72	合葬・A	<重光2年-延壽10年(621-33)>(男先)	無	無	3	269-301
TAM156	(72)						
TAM157	72		<景龍4年(710)>	無	無	7	496-502
TAM158	(72)						
TAM159	(72)						
TAM160	(72)						
TAM161	(72)						
TAM162	(72)						
TAM163	(72)						
TAM164	(72)						
TAM165	(72)						
TAM166	(72)						
TAM167	(72)						
TAM168	(72)						
TAM169	72	張達(孝章)(墓・随)／妻 ※4	達夫・建昌4年(558)(墓・随), 妻・延昌16年(576)(随) <建昌4年-延昌16年(558-76)>	1方	2件	2	214-79
TAM170	72	張洪(孝寅)(墓・随)／妻 ・焦氏(孝姿)(墓・随), 光 妃(随), 合葬・D	夫・延昌2年(562)(墓・随), 妻・焦氏・章和13年(543) (墓・随), 光妃・章和18年(548)(随)<章和13年-延昌2 年(543-62)>※11	2方	3件	2	59-139

①番号	②年	③埋葬者	④没年	⑤墓	⑥随	⑦文	⑧頁数
TAM171	72	魏氏(墓)	貞觀16年(642)(墓)<延壽14年(637)>	1方	無	4	127-37
TAM172	(72)						
TAM173	72	元兒(隨)	延壽10年(633)(隨)		1件	3	266-68
TAM174	(72)						
TAM175	(72)						
TAM176	(72)						
TAM177	(72)	且渠封戴※5	承平13年(455)	1方			
TAM178	72		<開元28年(740)>	無	無	8	384-401
TAM179	72		<繪章元年(668), 武周時期文書>	無	無	7	116-24
TAM180	(72)						
TAM181	(72)						
TAM182	(72)						
TAM183	(72)	梁延懷(墓)※6	麟德元年(664)(墓)	1方			
TAM184	72	合葬・A	<開元2-12年(714-24)>(女先)	無	無	8	279-306
TAM185	(72)						
TAM186	(72)						
TAM187	72	張氏(墓)	聖曆元年(698)一長安4年(704)(墓)<垂拱3年-天寶4年(687-745)>	1方	無	8	418-67
TAM188	72	張氏/夫人・魏娘<仙妃>(墓)	夫人・開元3年(715)(墓)(女先?)<神龍2年-開元4年(706-16)>	1方	無	8	52-95
TAM189	72		<神龍元年-開元10年(705-22)>	無	無	8	234-58
TAM190	(72)						
TAM191	73※1		<永隆元年-2年(680-1)>	無	無	6	545-66
TAM192	73	張大良(墓)	開元12年(724)(墓)<開元7年(719)>	1方	無	8	307-12
TAM193	73		<証聖元年-天寶10載(695-751)>	無	無	8	484-505
TAM194	72	張行倫(墓)	開元7年(719)(墓)	2方	無	8	106-10
TAM195	(72)						
TAM196	(72)						
TAM197	73	張難陀(墓)/妻・孟氏(墓)	夫・貞觀16年(642)(墓), 妻・延昌38年(598)(墓)	2方	無	5	343-45
TAM198	(73)						
TAM199	(73)	張阿質(墓)/妻・魏氏(墓)※7	夫・重光元年(620)(墓), 妻・延昌41年(601)(墓)	2方			
TAM200	(73)	張仲慶(墓)/妻・焦居歆(墓)※8	夫・重光元年(620)(墓), 妻・延和11年(612)(墓)	2方			
TAM201	72※2	張君行(諡<銓?>)之母(墓)※9	咸亨5年(674)(墓・隨)	1方	1件※	6	498-502
TAM202	72☆	張氏(墓)/妻・魏姜(墓)	夫・儀鳳2年(677)(墓), 妻・麟德元年(664)(墓)<上元2年(675)>	2方	無	6	510-11
TAM203	(73)						
TAM204	72☆		延壽9年(632)(墓)<貞觀22年(648)>	1方	無	4	268-81
TAM205	72☆		重光元年(620)(隨)		1件	3	121-23

①番号	②年	③埋葬者	④没年	⑤墓	⑥隨	⑦文	⑧頁数
TAM206	73	張雄／妻・魏氏(墓)	夫・延壽10年(633)(墓), 妻・垂拱4年(688)(墓)<義和5年-光宅元年(618-84)>	1方	無	5	258-342
TAM207	(73)						
TAM208	73	張元峻(墓)	永徽4年(653)(墓)	1方	無	6	184-90
TAM209	72☆	張善和(墓), 合葬・A	顯慶3年(658)(墓)<男先><貞觀17年-神龍2年(643-706)>	1方	無	7	34-64
TAM210	73	居太夫人(隨), 合葬墓	<貞觀23年-廣德元年(649-763)>		1件	6	63-99
TAM211	(73)						
TAM212	(73)						
TAM213	(73)						
TAM214	73	張氏／妻・魏氏(墓), 合葬・D	妻・魏氏・麟德2年(665)(墓)<女先>	1方	無	6	302-23
TAM215	72☆		【天寶以後(742-)】	無	無	8	506-18
TAM216	72☆		<武周時期-天寶10載(689-751)>	無	無	8	468-83
TAM217	(73)						
TAM218	(73)						
TAM219	(73)						
TAM220	(73)						
TAM221	73	張團兒(墓)	永徽4年(653)(墓)<貞觀18年-武周時期(644-704)>	1方	無	7	1-33
TAM222	73		<咸亨2年-證聖元年(671-95)>	無	無	7	128-69
TAM223	72☆		<景龍2年-開元11年(708-23)>	無	無	8	259-76
TAM224	73						
TAM225	72☆	※10	<聖曆2年-長安3年(699-703)>	無	無	7	228-67
TAM226	72☆		<開元10年(722)>	無	無	8	192-233
TAM227	(73)※3			無	無		
TAM228	72☆		<開元19年-天寶3載(731-44)>	無	無	8	402-17
TAM229	72☆		<開元11年(723)>	無	無	8	277-8
TAM230	72☆	張禮臣(墓), 合葬・A	夫・長安2年(702)(墓)<男先><文明元年-開元9年(684-721)>	1方	無	8	135-91
TAM231	(73)						
TAM232	73		【開元(713-41)以前】	無	無	8	9-12
TAM233	64☆		【十六国時期】		無	1	207-08
TAM234	(73)						
TAM235	(73)						
TAM236	(73)						
TAM237	(73)						
TAM238	(73)						
TAM239	75☆		<景龍2年-4年(708-10)>	無	無	7	503-24
TAM240			<開元6年(718)>	無	無	8	96-105

【注】

- (1) 『文書』では、73年とするに対して、「概述」では、TAM148～196までが、72年の発掘に係るものとする。以下TAM192・193も同様。
- (2) 『文書』には、72年とあるが、「概述」では、TAM197～239までを、73年の発掘とする。以下、『文書』と「概述」との発掘年次が相違するものは、☆を付した。
- (3) 陳国燦「略論日本大谷文書与吐魯番新出墓葬文書之関連」（『中国敦煌吐魯番学会第三届学术大会論文』1988年）p.10-11, には、TAM227出土の文書に触れるところがあり、そこで氏は、この墳墓が72年に発掘されたこと、またこれが張氏一族の墓に属することを指摘される。
- (4) 『新疆出土文物』（文物出版社、1975年）p. 44, 図版72。
- (5) この墳墓については、周偉洲「試論吐魯番阿斯塔那且渠封戴墓出土文物」（『考古与文物』1980年第1期）pp.99-102, 参照。
- (6) 侯燦論文、No.153（p.47）による。
- (7) 侯燦論文、No.84, 105（p.39, 41）による。
- (8) 侯燦論文、No.95, 106（p.40, 42）による。
- (9) 侯燦論文、No.167（p.48）に、TAM508出土の「長安3年(703)張銓墓磚」を掲げ、冒頭に「君諱銓字君行」と録す。508号墓と201号墓とは、同じ張瑩に属すと見てほぼ大過ないから、当墓は銓<『文書』7(p.215)では詮と記す>（君行）の母親の墳墓と推定される。
- (10) 陳国燦氏は、この墓主を張令端と推定する。同「武周瓜、沙地区的吐谷渾帰朝事迹—対吐魯番墓葬新出敦煌軍事文書の探討—」（敦煌文物研究所編『1983年全国敦煌学术討論会文集』文史・遺書編（上）、甘肅人民出版社、1987年）p.22.
- (11) 『文書』2（p.59）には、「出有高昌延昌2年（562）張洪墓表。」とあるが、同書（p.65）に移録されるその墓磚内容には、末尾に「張洪妻焦氏之墓表。」と記されている。侯燦論文、No.22（p.33）も同様であり、これを如何に解釈すべきかは、今後の問題となろう。

事務局（連絡先）〒182 東京都調布市国領町5-19-14

荒川正晴方

TEL 0424(81)4633

吐魯番出土文物研究会（The Research Society for Turfan Relics）